

太陽熱利用ガスふろ給湯システム

取扱説明書（保証書付）

システム編

システム名	熱源一体型貯湯ユニット (潜熱回収型)	集熱器
VF-6200-1-BL	SS-GTC2420A	SCQ-202 (3枚)
VF-4200-1-BL	SS-GTC2420A	SCQ-202 (2枚)

まずはじめに

ご使用前に

必要なとき

困ったとき

ご参考



エコマーク商品
太陽熱利用システム

SBB80Q5①



この取扱説明書の見かた

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)は、別冊のリモコン操作編の取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

この取扱説明書での機器の呼びかた

- 熱源一体型貯湯ユニットを「貯湯ユニット」と呼びます。

この取扱説明書は貯湯ユニット・集熱器に関する内容のみ記載しています

- リモコンの操作については、別冊のリモコン操作編の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

もくじ

まずはじめに

この取扱説明書の見かた	2
もくじ	2
システムのしくみ	3
必ずお守りください(安全上の注意)	4
使いかたのコツ	9

ご使用前に

初めてお使いになるときは	10
各部のなまえとはたらき(貯湯ユニット)	11

必要なとき

凍結による破損を予防する	12
長期間使用しないとき(水抜きの方法)	14
断水後や給水元栓を長期間閉めていたあとは	16
日常の点検・お手入れのしかた	16
あんしん点検について	21
災害時などに貯湯タンクから水(お湯)を取り出す	22

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	23
アフターサービスについて	28

ご参考

主な仕様	30
無料修理保証書	裏表紙

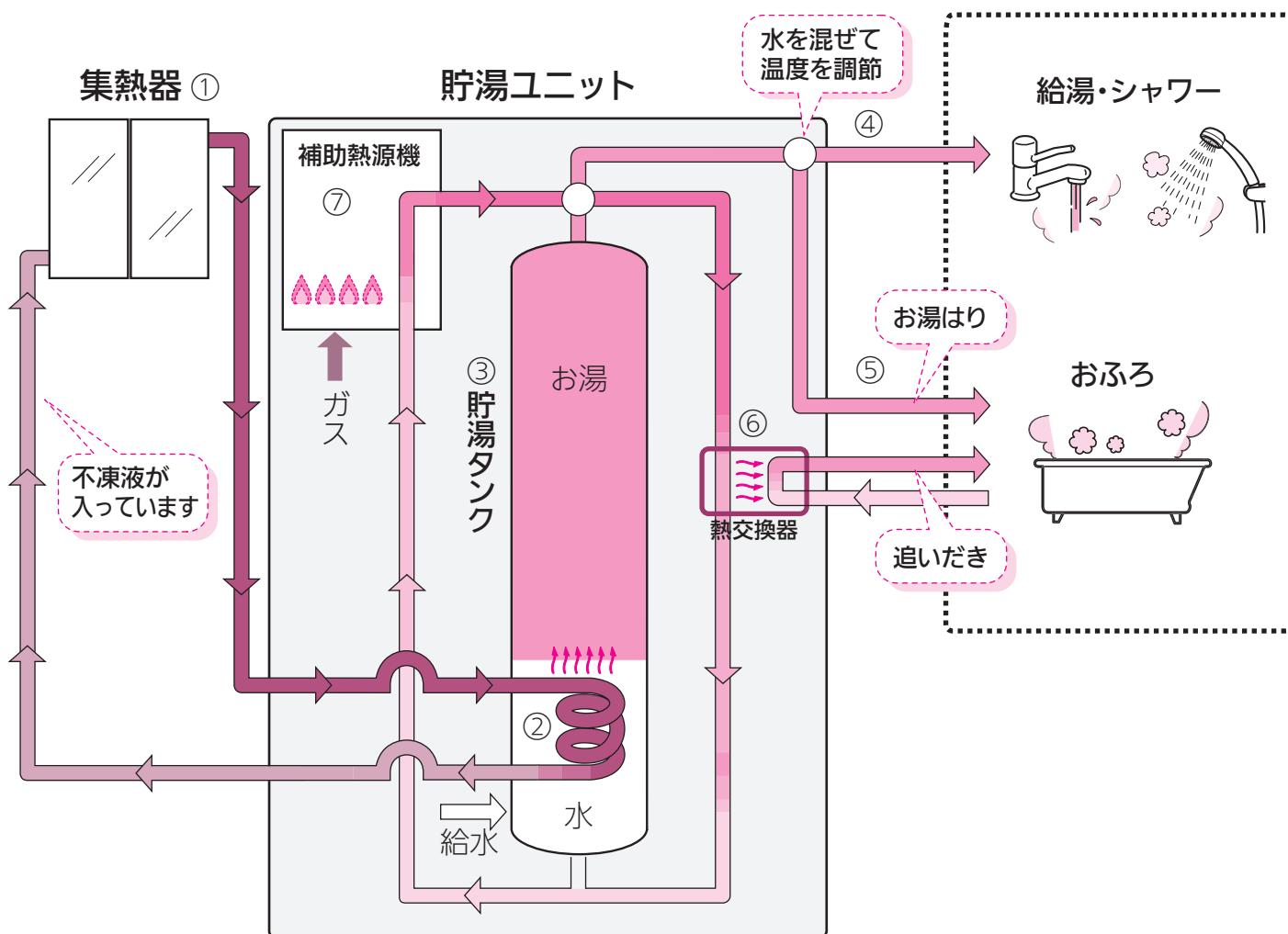
システムのしくみ

■太陽熱を集熱して、お湯を作ります

- 日射があると、自動的に集熱を開始し(①)、あたためられた集熱回路の不凍液の熱を利用して貯湯タンクのお湯(水)をあたためて(②)、貯湯タンクに貯えます(③)。
- 貯湯タンクに貯えたお湯は、給湯(④)やお風呂のお湯はり(⑤)に使用します。
- 集熱は、給湯スイッチの「入」「切」に関係なく、自動的に起こります。

■補助熱源機でお湯を沸かします

- お風呂の追いだき(⑥)は、補助熱源機(⑦)を利用します。(太陽熱を利用しません)
- 貯湯タンクのお湯が足りないときは、補助熱源機(⑦)でお湯を沸かします。



必ずお守りください(安全上の注意)-1

リモコン操作編の取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されます。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定されます。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

⚠危険

ガス漏れに気づいたときは、

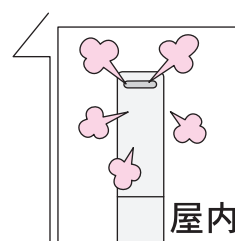
1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓も閉める
3. 販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する



必ずおこなう

屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない



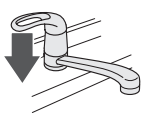
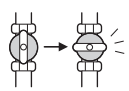
火気禁止

火や火花で引火し、火災の原因になります。



⚠警告

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める 
2. 給湯スイッチを「切」にする
3. 電源プラグを抜く **ぬれた手でさわらない**
4. ガス栓・給水元栓を閉める 



必ずおこなう

点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、**ただちに使用を中止しガス栓を閉める** 

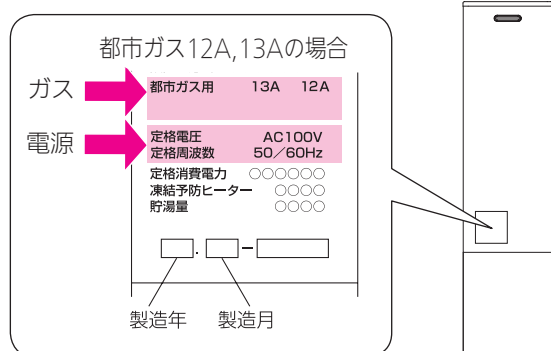
使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(P23~27)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



必ずおこなう



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、弊社窓口にご連絡してください。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する



高温注意

やけど予防のため。

- ・60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。
- ・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性がありますので、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。
- ・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。



この機器は貯湯式のため、給湯スイッチが「切」でもあついお湯が出ることがあります

シャワーやお湯の使用にお湯の温度が上がってきたら、すぐにお湯から離れる

貯湯タンクのお湯の温度が高いときに、停電したりした場合、高温のお湯が出る可能性があります。

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



追いだき中・ふろ自動(沸かし直し)中は、循環アダプターからあついお湯が出るのでさわらない



高温注意

やけど予防のため。

循環アダプター



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、給湯スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない、太陽熱給湯スイッチを押さない



禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。

また、低温に変更したり、太陽熱給湯をしたり、給湯スイッチ「切」にすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

子供を浴室で遊ばせない
子供だけで入浴させない



禁止

やけどやケガなど思わぬ事故の原因になります。

浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない



禁止

ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。



感電注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む



必ずおこなう

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。

電源プラグのホコリは定期的に取り除く



必ずおこなう

ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード、電源プラグを破損させない、加工しない



禁止

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。

感電、ショート、火災の原因になります。

機器本体やガスの配管、排気口などに乗ったりして、無理な力を加えない



禁止

ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

警告

お客さまご自身では絶対に分解・修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



分解禁止

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、弊社窓口



必ずおこなう

口に依頼する

安全に使用していただくため。

お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターを外して使用しない



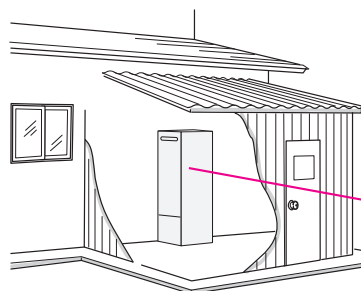
禁止

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



禁止



機器本体

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

燃えやすい物を機器本体や排気口のまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)



禁止

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない

火災の原因になります。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない



禁止

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体(排気口)が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

架台や集熱器を固定しているネジやワイヤーにゆるみや外れがないか、ときどき確認する



台風シーズンや強風が予想されるときや地震の後には、集熱器の固定状態を確認してください。地上から確認できない場合は、販売店または、弊社窓口

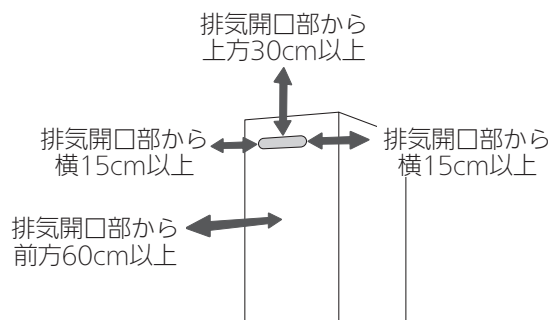
必ずおこなう

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)



必ずおこなう

火災予防のため。



【集熱器が傾斜のある高い屋根の上などに設置されている場合】



禁止

お客さまご自身で屋根に上って、点検・お手入れ・除雪などをおこなわない

屋根からの転落事故につながるおそれがあります。必ず販売店にご連絡ください。

使用しない集熱器を放置しない



禁止

老朽化などにより、ご使用にならなくなった集熱器は、販売店に依頼して屋根から降ろしてください。放置していると、ワイヤー固定の場合などではワイヤーの腐食などにより落下する原因になります。

必ずアースする



機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、販売店にご相談

必ずおこなう

⚠️ 注意

集熱器と貯湯ユニットは、弊社指定の組み合わせで使用する



それ以外の製品と組み合わせると、思わぬ事故の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く



コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

必ずおこなう

【配管カバーがある場合】

配管カバーのフロントカバーを外した場合は、作業終了後、必ずフロントカバーを元どおり正しく取り付ける



必ずおこなう

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する



不完全燃焼の原因になります。

必ずおこなう

子供を機器の周囲で遊ばせない



思わぬ事故の原因になります。

禁止

給湯、シャワー、お風呂以外の用途には使用しない



思わぬ事故を予防するため。

禁止

ドレン配管から排出される凝縮水を、飲料用・飼育用などに使用しない



禁止

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない



接触禁止

やけど予防のため。

給気口・排気口に指や棒を入れない



禁止

ケガや故障の原因になります。

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、給湯スイッチ「切」にし、電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなう



必ずおこなう

貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する

やけど予防のため。

機器取り替えと乾電池に関するお願い

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

集熱器の上に乗ったり、石などを投げて集熱器に衝撃を与えない



禁止

集熱器が破損する原因になります。

集熱回路の不凍液は10年に1回程度、弊社指定の不凍液に交換する



交換せずに使用されると、防サビと凍結予防の効果がなくなり、集熱器や貯湯ユニットが破損する原因になります。

必ずおこなう

交換の際は、販売店または、弊社窓口へご相談ください。

まずはじめに

必ずお守りください(安全上の注意)-3

お願い

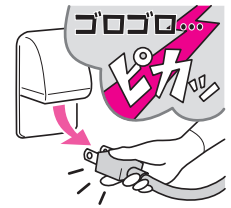
雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く
(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計をあわせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。



ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)



感電注意

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。

故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがない
穴に物を詰めない

お風呂沸かしができません。
機器の故障の原因になります。



浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除する
ポンプ故障の予防のため。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、排気口の周囲に置かない

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたす場合があります。

また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社窓口を確認してください)

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

バスソルトなど塩分の強いもの、乳白色(白濁)のものを使用するときは、保温や追いだきをしない
使用後はすぐに排水する

入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。

これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない、雑用水として使用する

飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させる

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- あついお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずただちに、販売店または、弊社窓口へ点検を依頼してください。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用する
製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証
期間内でも有料になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したとき
に水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとど
まることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけん
などに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が
青く着色することがあります。

こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すこ
とで、これを予防できます。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

凍結による破損を予防する(☞P12)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が
起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも
有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P14~15)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると、機器の故障の
原因になります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機
器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりし
て、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

貯湯ユニットのアンカーボルトがゆるんでないか、ときどき確認する

機器の転倒の予防のため。

植木を植えるときや増改築時には、集熱器が日陰にならないようにする

季節により陰の長さ・位置が変わることも考慮してくだ
さい。集熱器が日陰になると集熱量が少なくなり、効率
が悪くなります。

使いかたのコツ

補助熱源機を
燃焼させない
使いかたで
ガスを節約。
上手に省エネ
しましょう！

設定した給湯温度より貯湯タンクのお湯の温度が高いときにお湯を使用する※

- 貯湯温度が給湯温度より約3℃以上(目安)高いときにお湯を使うと、
お得なお湯が快適に使えます。

太陽熱給湯※を活用する

- 貯湯温度が給湯温度とあまり変わらない場合や少し高い場合に。
- 高い温度のお湯が必要でないときなどに。

※リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。

★気をつけて！

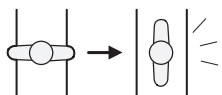
給湯温度を50~60℃の高温に設定し、サーモスタット付混合水栓で湯温を調節して使うと、省エネになりません。
設定した温度(高温)まで補助熱源機が燃焼してお湯を沸かし、水栓のところで水を混ぜるので、ガスを無駄に使用することになります。使いたい温度に給湯温度を設定して使用してください。

初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

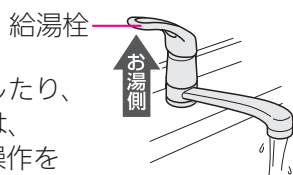
- 1 **【配管カバーがある場合】**
ネジ(4か所)を外し、配管カバーを開ける

- 2 給水元栓を全開にする

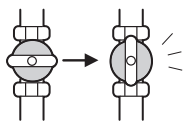


- 3 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

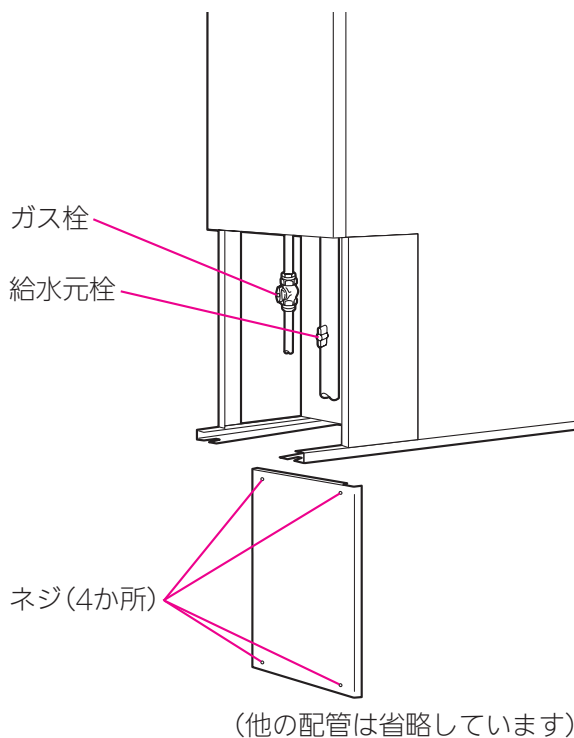
※水の出はじめに異音が生じたり、流量が安定しない場合は、P15「再使用のとき」の操作をしてください。



- 4 ガス栓を全開にする



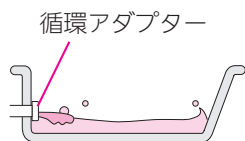
- 5 **【配管カバーがある場合】**
配管カバーを元どおり取り付け



※配管カバーの形状・ネジの位置は、配管カバーの種類によって異なります。

- 6 浴室リモコンでポンプの呼び水をする

1. 給湯スイッチを「入」にし、ふろ自動スイッチを「入」にする
2. 浴槽の循環アダプターから水が出てくることを確認する



※リモコンに表示「110」が出たときは、給湯スイッチをいったん「切」にし、もう一度手順6の1. よりやり直してください。

3. ふろ自動スイッチを「切」にする
4. 機器を使用しない場合は、給湯スイッチを「切」にする

- 7 リモコンの日時が合っていることを確認する
(合っていない場合、リモコン操作編の取扱説明書)

各部のなまえとはたらき(貯湯ユニット)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。
(この取扱説明書に説明がある部分のみ、記載しています)

排気口

燃焼した排気ガスを出します。

フロントカバー

電源コンセント

電源プラグ

ガス栓

給水元栓

給水配管

水抜き栓(フィルター付)はこの配管にあります。(P19)

他の配管は省略しています

給気口

燃焼用の空気を吸い込みます。

配管カバー(別売品)

お手入れや水抜きの際に、ネジを外して開けてください。

※配管カバーの形状・ネジの位置は、
配管カバーの種類によって異なります。

凍結による破損を予防する

お願い

凍結による破損を 予防する

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

通常の寒さのとき
(右の気象条件ほど厳しくないとき)

処置1 をする

- 低温注意報が発令されたとき
- 外気温が極端に低いとき(−10℃以下)
- −10℃より高くても風があるとき

処置1+2 をする

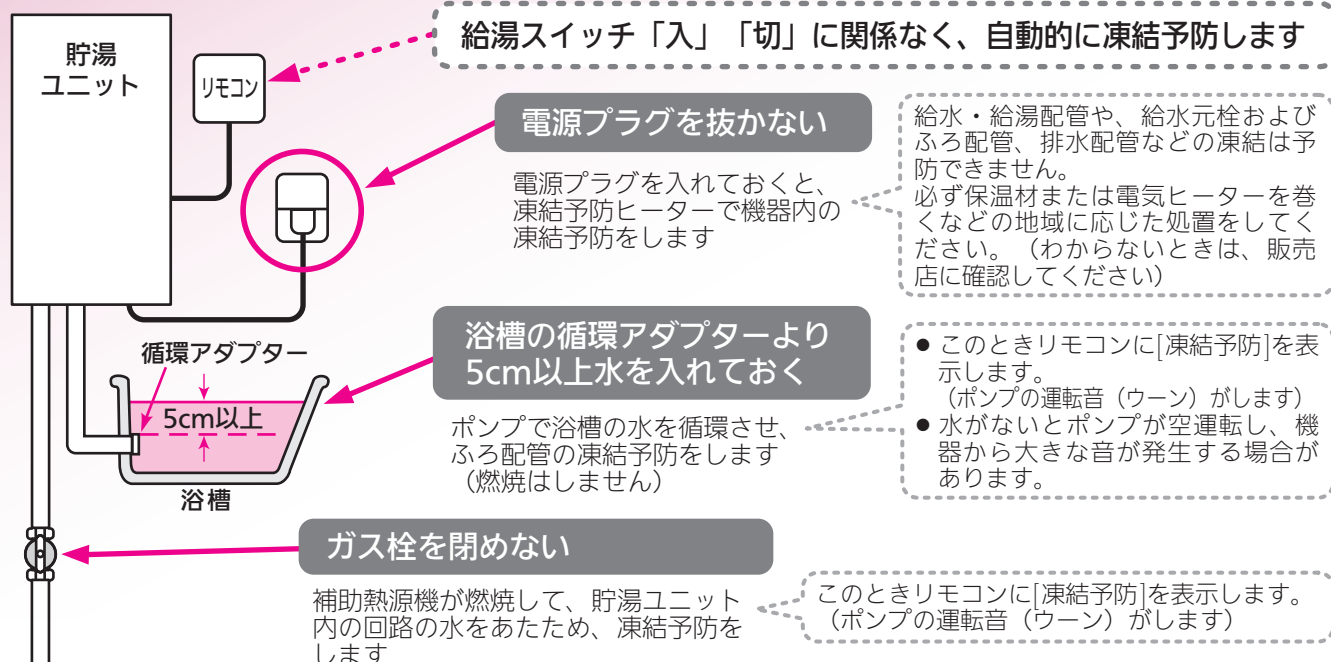
※上記の気象条件の場合は、
処置1のみでは凍結予防できません

または

長期間
使用しないとき

P14~15の方法で
水抜きをする

処置 1 凍結予防ヒーター+ポンプ運転による方法



処置 2 通水による方法

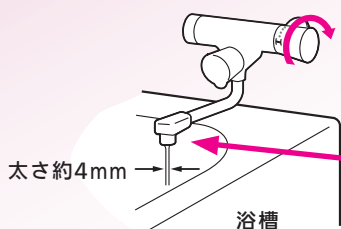
1 リモコンの給湯スイッチ「切」にする

2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする

3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする
少量の水とは・・・1分間に約400cc、太さ約4mm

4 約30分後、流れる量を確認する

流量が不安定になっている場合があります



- 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。

凍結してお湯(水)が出ないとき

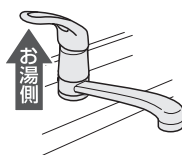
■給湯スイッチを「切」にする

- 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

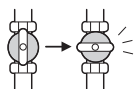
■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 リモコンの
給湯スイッチを
「切」にする

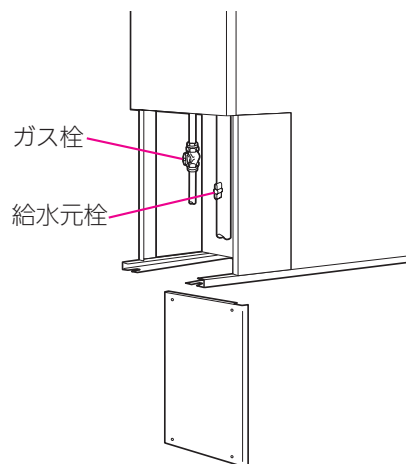
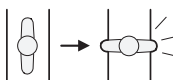
2 台所などの給湯栓を少し開けておく



3 ガス栓を閉める



4 給水元栓を回してみて(閉めてみて)
以下の処置をする



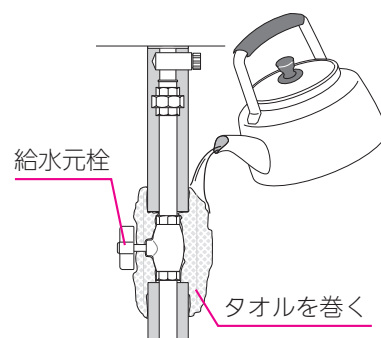
■給水元栓が凍結して回らない場合

- 1) タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2) **人肌程度(30~40℃)のぬるま湯**を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意

- 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- 機器の電気配線類にお湯がかからないように注意してください。
- ガス栓とまちがえないように注意してください。

- 3) 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- 4) タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- 5) 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)



■給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

必要なとき

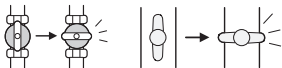
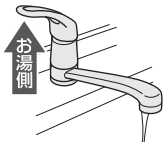
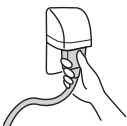
- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 給湯栓から水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

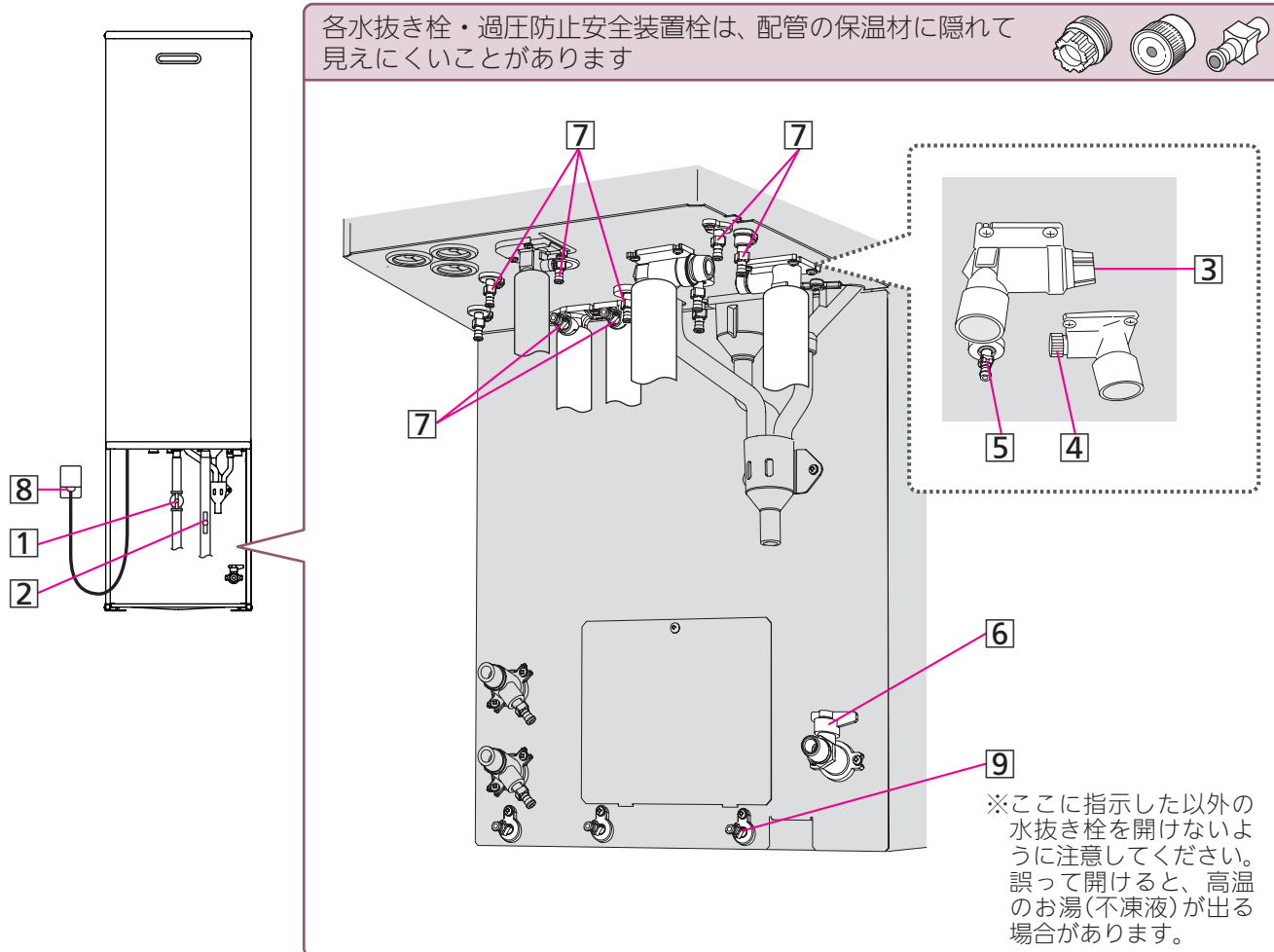
長期間使用しないとき(水抜きの方法)



貯湯タンクにお湯がある場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する

やけど予防のため。

	操作	お知らせ
準備	- 給湯スイッチを「入」にし、貯湯温度が40℃以下であることを確認してください。 - 水抜き栓などからお湯(水)が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。	
1	1. 【配管カバーがある場合】配管カバーのネジを外し、配管カバーを開ける 2. 機器のガス栓①と給水元栓②を閉める 	
2	浴槽の排水栓を開けておく	
3	1. リモコンの給湯スイッチを「切」にする 2. リモコンで「機器の水抜き」の設定をする (リモコン操作編の取扱説明書) 3. 浴槽の循環アダプターから排水することを確認する	- このあと、浴槽に水を流し込まないでください。 - 水抜きを中止する場合は、給湯スイッチを「入」にするか、「機器の水抜き」をしない設定にしてください。 - 水抜きの途中で電源プラグを抜かないでください。 「機器の水抜き」の設定をしてから約20分たつと、「ピピッ」とお知らせ音が鳴ります。(このお知らせ音が鳴るまでは手順6の操作はおこなわないでください)
4	すべての給湯栓を全開にする 	
5	1. 水抜き栓③を左に回して開け、外す 2. 過圧防止安全装置④および水抜き栓⑤を左に回して開け、外す 3. 排水バルブ⑥を90度回して開ける	排水します。
6	手順5の操作から20分以上経過後、水抜き栓⑦(7か所)を左に回して開け、排水し、約20分以上そのままにする	
7	機器の電源プラグ⑧を抜く ぬれた手でさわらない 	
8	完全に排水されたことを確認して、水抜き栓⑨を左に回して開け、ゆるめる	
9	すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・過圧防止安全装置、排水バルブ、給湯栓を閉める 【配管カバーがある場合】配管カバーを元どおり取り付ける	



● 再使用のとき ●

1. 【配管カバーがある場合】配管カバーのネジを外し、配管カバーを開ける。
2. すべての水抜き栓・過圧防止安全装置・排水バルブ・給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. 給水元栓を開ける。
4. 電源プラグを電源コンセントに差し込む。 **ぬれた手でさわらない**
5. 1)給湯スイッチが「切」であることを確認する。
2)リモコンで「機器の水張り」の設定をする。(リモコン操作編の取扱説明書)
(リモコンに「機器の水張り中」を表示します)
※浴槽の循環アダプターから水が出たり止まったりしますが、異常ではありません。
6. 5.の2)の操作から約30分以上経過後、[機器の水張り中]の表示が消えていることを確認する。
7. 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
8. ガス栓を開ける。
9. 【配管カバーがある場合】配管カバーを元どおり取り付け。

※通水後初めてのふろ使用で、リモコンに故障表示《032》《632》が出る場合

給湯スイッチをいったん「切」にし、給水元栓が開いていること・すべての水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜き、再度差し込んで再使用してください。

断水後や給水元栓を長期間閉めていたあとは

以下の手順で、機器の水張りをしてください。

- 1) 給湯スイッチが「切」であることを確認する。
2) リモコンで「機器の水張り」の設定をする。(リモコン操作編の取扱説明書)
(リモコンに「機器の水張り中」を表示します)
※浴槽の循環アダプターから水が出たり止まったりしますが、異常ではありません。
- 1.の2)の操作から約20分以上経過後、「機器の水張り中」の表示が消えていることを確認する。
3. 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。

日常の点検・お手入れのしかた-1

点検(定期的に)

⚠注意



機器の点検・お手入れをする場合は、給湯スイッチ「切」にし、電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなう
貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する

やけど予防のため。

● 貯湯ユニット ●

チェック

排気口にススがついていないか？

➡ ついていた場合：★

チェック

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】
カバーに雪が積もっていないか？

➡ 積もっている場合は除雪する。

チェック

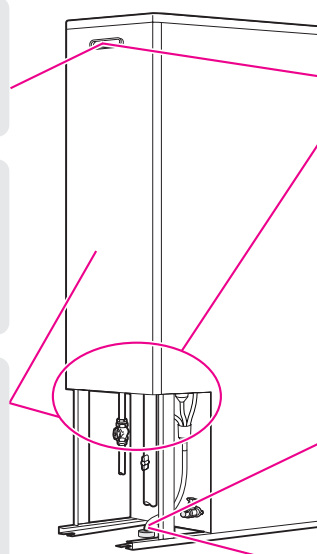
- 機器外装に異常な変色はないか？
- 機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
- 運転中に機器から異常音が聞こえないか？
- 機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合：★

チェック

配管カバーにガタつきやゆるみがないか？

➡ ガタつきやゆるみがないよう、ネジをしっかりと締める。



(他の配管は省略しています)

チェック

排気口・給気口がほこりなどでふさがっていないか？

➡ ふさがっていた場合：★

チェック

機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

➡ 燃えやすいものを置かない。

チェック

ドレン配管の先にゴミ詰まりなどがいないか？

➡ ゴミなどは取り除く。

チェック

ドレン配管の先が水につかっているか？

➡ つかっていた場合：★

★の処置：販売店または、弊社窓口へ連絡する。

点検(1年に1回程度)



【集熱器が傾斜のある高い屋根の上などに設置されている場合】
お客さまご自身で屋根に上って、点検・お手入れ・除雪などをおこなわない

屋根からの転落事故につながるおそれがあります。必ず販売店にご連絡ください。

● 集熱器 ●

台風の前や地震後は、点検を販売店に依頼してください。



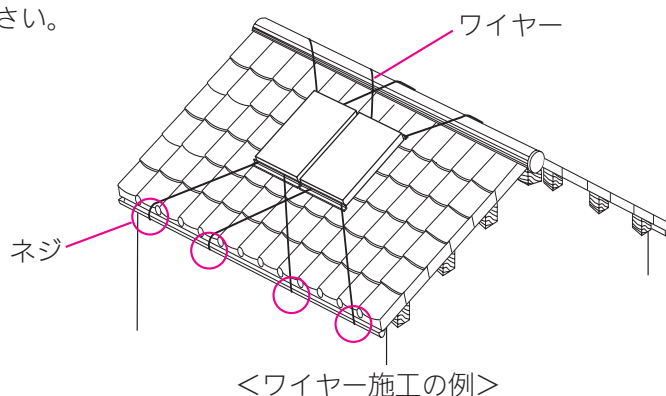
集熱器を固定している金具やネジ、ワイヤーにゆるみや外れがないか？

➡ ゆるみや外れがある場合は、販売店または、弊社窓口へ連絡する。



集熱器のパネル・配管から水漏れはないか？

➡ 水漏れがある場合は、販売店または、弊社窓口へ連絡する。



お手入れ(こまめに掃除)

● 浴槽の循環アダプターのフィルター ●

フィルターが詰まると、お風呂の温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

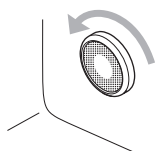
※給湯スイッチ「切」にしてからおこなってください。

※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

※循環アダプターの形状は、異なる場合があります。

1

循環アダプターのフィルターを左に回して外す



2

歯ブラシなどで水洗いする



3

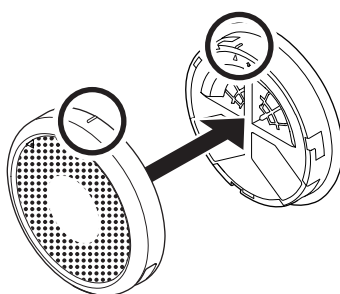
フィルターの受け側の溝や穴を、歯ブラシなどで掃除する



4

線と線に合わせて★フィルターをはめる

★線がない循環アダプターの場合は、△と△を合わせてください。



5

右に回す
(カチッと音がして固定されます)



日常の点検・お手入れのしかた-2

お手入れ(定期的に)

**注意**



機器の点検・お手入れをする場合は、給湯スイッチ「切」にし、電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなう
貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する
やけど予防のため。

● 貯湯ユニット ●

- 貯湯ユニットの外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
- 海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、機器に潮風が当たり、貯湯ユニットおよび配管接続部にサビが発生する場合があります。
サビがひどい場合は、貯湯ユニット内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

● リモコン ●

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

お願い

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

お願い

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

お願い

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

● おふろの配管 ●

- ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗剤をお試しください。(ふろがま洗剤の説明書に従って正しく洗浄してください)
- ふろ配管クリーンによって配管内の残り湯を押し出すことができます。(リモコン操作編の取扱説明書)

● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、給湯スイッチ「切」にして機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

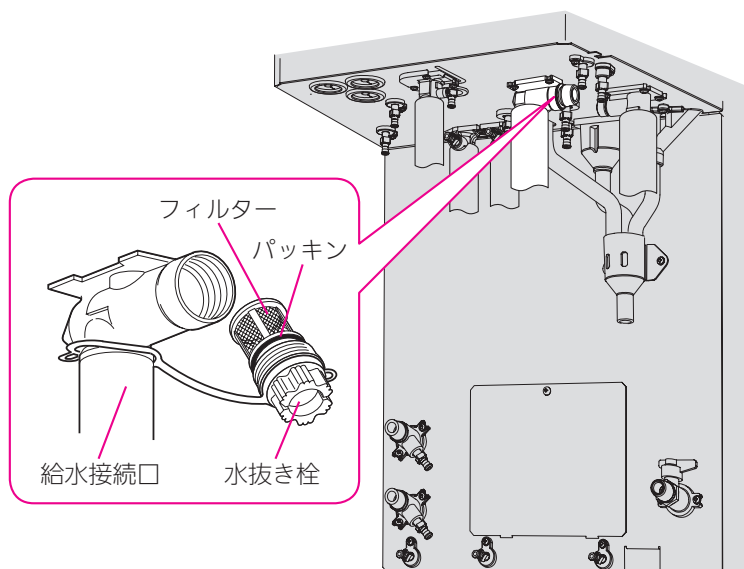
※水抜き栓からお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を左に回して外す。（※1）
4. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（※2）（※3）
5. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
6. すべての給湯栓を閉める。
7. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

（※1） このとき水（湯）が出るので注意してください。

（※2） 水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。

（※3） 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。



（他の配管は省略しています）

必要
な
と
き

お手入れ（1年に1回程度）

⚠ 警告



【集熱器が傾斜のある高い屋根の上などに設置されている場合】
お客さまご自身で屋根に上って、点検・お手入れ・除雪などをおこなわない

屋根からの転落事故につながるおそれがあります。必ず販売店にご連絡ください。

● 集熱器 ●

- 集熱器の汚れがひどくなると、集熱効率が悪くなり、お湯の温度が上がりにくくなります。柔らかい布に水を含ませて汚れを落としてください。

みがき粉・シンナー・ベンジン・塩素系の洗剤などは使用しないでください。集熱器をいためる原因になります。

日常の点検・お手入れのしかた-3

お手入れ(1年に1～3回程度)

● 貯湯タンク ●

水道水に混じっていた泥やゴミなどが貯湯タンクに沈殿していることがあるため、貯湯タンクの水を入れ替え、沈殿物を流し出してください。

【1年に2～3回程度】

1. 給湯スイッチ「入」にし、貯湯温度が40℃以下であることをリモコンで確認する。
2. 給湯スイッチ「切」にする。
3. 電源プラグを抜く。**ぬれた手でさわらない**
4. 排水バルブを90度回して開ける。
5. 4の操作から約2分後、排水バルブを元の位置まで閉める。
※約2分以上たつと、熱いお湯が出ることがあります。
6. 電源プラグを電源コンセントに差し込む。

【1年に1回程度】

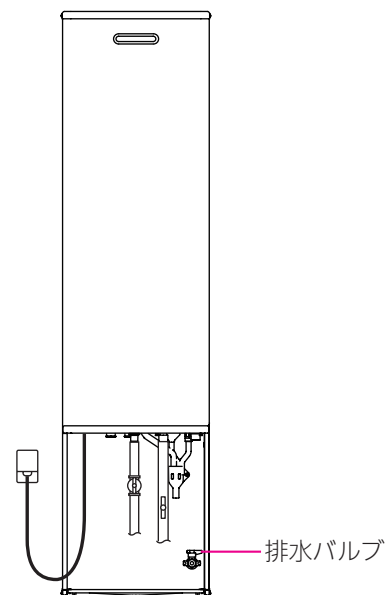
⚠注意



貯湯タンクにお湯がある場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する

やけど予防や排水配管の保護のため。

1. 給湯スイッチ「入」にし、貯湯温度が40℃以下であることをリモコンで確認する。
2. P14～15「長期間使用しないとき(水抜きの方法)」の要領で、水抜きをする。
3. 水抜き後、P15「再使用のとき」の操作をする。



(他の配管は省略しています)

不凍液の種類と交換(有料)について

【不凍液の種類】必ず指定の不凍液(LL不凍液シリーズ)をご使用ください。

【不凍液の交換】10年に1回程度の交換が必要です。

交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、集熱器や貯湯ユニットが破損するおそれがあります。

交換の際は、販売店または、弊社窓口へご相談ください。

定期点検のおすすめ(有料)

【貯湯ユニット】

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、(社)日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店にご相談ください。

【集熱器】

直射日光や雨・風など条件の厳しい場所に設置するため、専門の技術者が定期的に訪問して点検をおこない、常に快適で安全にご使用いただけるように、契約されることをおすすめします。お問い合わせ・お申し込みは販売店または、弊社窓口までご連絡ください。

あんしん点検について

機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」(有料)のおすすめ

お買い上げいただいた製品は、長期間使用すると、経年劣化によって安全上支障が生じお客さまに危害を及ぼすおそれがあります。

本製品は、使用期間の目安として「設計上の標準使用期間」を設けています。「設計上の標準使用期間」を超えてのご使用は、経年劣化による事故発生の危険度が高くなりますので、継続して使用される場合は、安全確保のために「あんしん点検」(有料)を受けてください。

● あんしん点検について ●

あんしん点検は、ノーリツまたはノーリツが委託した事業者が行います。

【点検お知らせ機能搭載について】

一般的な使用で10年相当使用すると、点検時期になったことをお知らせします。(リモコン操作編の取扱説明書)

【あんしん点検の内容について】

- ・ あんしん点検は、お客さまの任意で受検していただく有料の点検です。
- ・ 点検基準は、消費生活用製品安全法省令に定められた法定点検の基準を参考に、当社で設定しています。
- ・ あんしん点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・ 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。
※製品の修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、P28をご覧ください。
- ・ あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。

【あんしん点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、あんしん点検の料金設定の基準やサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.noritz.co.jp/aftersupport/hosyu/index.html>

● 点検の時期について ●

本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)。

● お客さま情報の登録について ●

製品安全に関する情報や点検に関する情報を提供させていただくために、お客さま情報を登録されることをおすすめします。

同梱の所有者票の返信もしくはインターネットにて、お客さま情報の登録ができます。

ご登録いただいたお客さま情報は、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、任意点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

インターネットでの登録は、下記のアドレスへアクセスしてください。

<https://reg.noritz.co.jp/nr/product.do>

災害時などに貯湯タンクから水(お湯)を取り出す



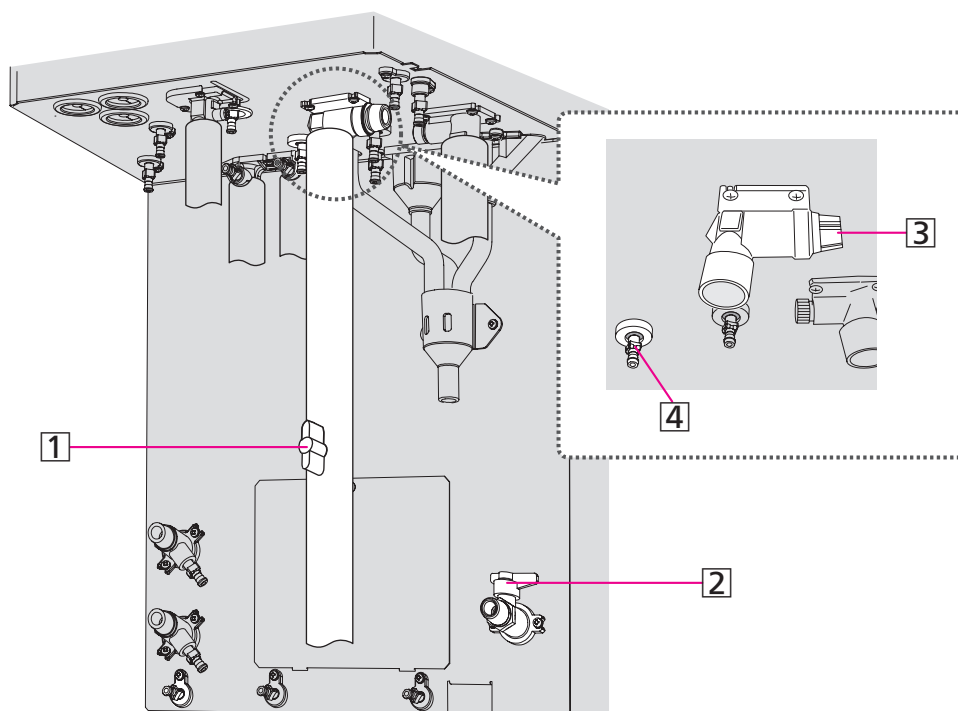
貯湯タンクのお湯が高温になっているので、気をつけて作業する

やけど予防のため。

断水時や災害時に、貯湯タンクの水(お湯)を取り出して雑用水として利用することができます。

1. 電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**
2. 給水元栓①を閉める。
3. 排水バルブ②に接続されている配管を取り外す。
4. 水抜き栓③④を左に回して開け、外す。
5. 排水バルブ②を開けると、貯湯タンクの水(お湯)が出ます。

※再使用時は、上記の逆の手順をおこなったあと、P15「再使用のとき」の操作をおこなってから使用してください。



故障・異常かな？と思ったら-1

リモコン操作編の取扱説明書の内容も併せてお読みください。

★リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー 給湯栓を開いても お湯が出てこない お湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	ガス栓・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。	ガス事業者に連絡を。
	LPガスの場合、ガスがなくなっている。	他のガス器具が使用できるか確認→使用できなければガス事業者に連絡を。
	水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	☞P19
	凍結している。	☞P13
	給湯スイッチ「切」になっている。	給湯スイッチ「入」に。
	夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。	給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。☞★
	太陽熱給湯を設定していると、貯湯タンクの温度が設定温度以下のときにお湯を使用しても補助熱源機は燃焼しないため、ご希望の温度のお湯になりません。	太陽熱給湯を解除する。☞★
お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。
低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。	給水元栓を全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	給湯温度を適温に設定する。☞★
	夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	給湯栓をもっと開いて使用する。
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	もう少し給湯栓を開いて使用する。
高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていない。	ガス栓を全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	給湯温度を適温に設定する。☞★
	【給湯とお湯はりの同時使用】を「同時使用する」に変更した場合】 お湯はり・たし湯中にお湯を使うと、ふろ温度のお湯が出ます。お湯はり・たし湯が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) ※リモコンの表示はそのままです。 ＜例：給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃＞	異常ではありません。☞★
	初めてお使いになる場合や、電源プラグを抜いたあとの再使用时、または停電後に初めてお使いになる場合は、安全性を保つため、高温のお湯が出にくい場合があります。	いったんすべての給湯栓を閉めて、再び開く。
	太陽熱給湯を設定していると、お湯を使うほど湯温は下がります。	太陽熱給湯を解除する。☞★

必要なとき
困ったとき

(つづく)

故障・異常かな？と思ったら-2

(つづき)

★リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー	給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	異常ではありません。
	給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンが優先になっていない。	操作しているリモコンに優先を切り替える。  ★
	給湯温度の設定がある温度以上、上げられない	給湯温度の上限を設定している。	給湯温度の上限の設定を確認する。  ★
	お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。
	給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動をすると、お湯の量が減る場合があります。また、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったりいったん止まる場合があります。	異常ではありません。いずれもしばらくすると安定します。
		【「給湯とお湯はりの同時使用」を「同時使用する」に変更した場合】 ふろ自動やたし湯と同時にお湯を使うと、お湯の出が悪くなる場合があります。	異常ではありません。  ★
		給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変わるものがあります。	異常ではありません。
おふろ	給湯栓から出るお湯の量が少ない	貯湯タンクにお湯がなくなったときに、追いだき(またはふろ自動)と同時にお湯を使うと、出湯量が少なくなることがあります。	異常ではありません。
		エコ設定すると、給湯量が少なくなります。	お好みに応じて給湯量を変更する。  ★
	ふろ温度の設定がある温度以上、上げられない	ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。  ★
	設定したふろ温度どおりに沸き上がらない	お湯はり中にふろ温度を低く設定し直した場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。	異常ではありません。
	おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	ふろ温度の設定が合っていない。	ふろ温度を適温に設定する。  ★
		浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。	 P17
		浴槽の循環アダプターのフィルターが確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。  P17
		ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。  ★
	設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない	ふろ湯量の設定が合っていない。	ふろ湯量を適量に設定する。  ★
		浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。	 P17
		沸き上がらないうちに、何度もふろ自動スイッチの「切」「入」をくりかえすと、お湯があふれることがあります。	異常ではありません。
		上記3点を確認してもなお問題のあるときは、記憶しているふろ湯量(水位)が合っていない可能性があります。	ふろ湯量(水位)をリセットする。  P27

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
浴槽の循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がすることがある	おふろの配管などにたまった空気が出る音です。	異常ではありません。
お湯はりの初めに水が出る	水温が高いときや、ふろ温度を低く設定しているときは、お湯はりの初めに水が出る場合があります。	異常ではありません。
ふろ自動や追いだきの沸き上がりがいつもより遅い	ふろ自動と給湯を同時に使うと、お湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、沸き上がりが遅くなります。	異常ではありません。「給湯とお湯はりの同時使用」を「同時使用する」に設定する。☞★
	貯湯タンクにお湯がない場合、給湯と追いだき（またはふろ自動による沸かし直し）を同時に使うと、能力が下がるため、沸き上がりが遅くなる場合があります。	いずれかの使用をやめると改善します。
ふろ自動が途中で停止した	ふろ自動と給湯を同時に使うと、お湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、ふろ自動が途中で停止します。	異常ではありません。「給湯とお湯はりの同時使用」を「同時使用する」に設定する。☞★
ふろ自動や追いだきを始めるとにこったお湯が出る	ふろ配管クリーンをしていない場合、ふろ自動や追いだきを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特ににごり系の入浴剤を使用した場合は、目立つことがあります。	ふろ配管クリーンをする。☞★
浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが作動し、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。	異常ではありません。
おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯(水)が出る	凍結予防のためポンプが作動し、配管に残っている水が循環アダプターから出る場合があります。	異常ではありません。
	浴槽のお湯(水)を排水中、自動ふろ配管クリーンがはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。	異常ではありません。
追いだきができない 追いだきが途中で停止した	浴槽の循環アダプター上部より5cm以上、お湯(水)が入っていない。	確認する。
	ポンプの呼び水をしていない。	☞P10の手順6
	浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。	☞P17
	断水している。(断水時は、浴槽にためていた残り湯の追いだきはできません)	復旧を待つ。
追いだきしてもふろ温度が上がらない	ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。☞★

故障・異常かな？と思ったら-3

★リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。

機器全般	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
	排気口から湯気(白い煙のようなもの)が出る	この機器で排出される燃焼ガスは温度が低く、水分を多く含んでいるため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。	異常ではありません。
		機器を使用していない場合でも、貯湯ユニット内の凍結予防時には、白い湯気が出ます。	異常ではありません。
	ドレン配管から頻繁に排水する	機器内に発生した凝縮水をドレン配管から排出します。(最大100cc/分程度)	異常ではありません。
	運転中に停止した	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	ガス栓・給水元栓を全開に。
		断水している。	復旧を待つ。
		給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
		ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。	ガス事業者に連絡を。
		LPガスの場合、ガスがなくなっている。	他のガス器具が使用できるか確認→使用できなければガス事業者に連絡を。
	運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする	再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。
	給湯スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音(クックッ、クー)がする		
	ポンプの回転音(ウーン)がする	追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく作動することがあります。	異常ではありません。
		ふろ予約時、予約時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプが作動します。	異常ではありません。
		気温が下がると、凍結予防のためにポンプが作動します。	異常ではありません。
		日射が一定以上になると集熱するため、自動的にポンプが作動します。	異常ではありません。
		集熱回路内にたまった空気を抜くために、1日1回はポンプが作動します。	異常ではありません。
	機器から「ピー」「ブー」という音がする	日照が続き、貯湯タンクが満タンになって集熱器で不凍液が沸騰すると、機器から「ピー」「ブー」という音がすることがあります。	異常ではありません。
	過圧防止安全装置(水抜き栓)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置(水抜き栓)から水滴が落ちることがあります。	異常ではありません。
	水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。 こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。	浴室用洗剤とスポンジでこまめに掃除することにより着色しにくくなります。
	排水配管先からお湯(水)が少しの間出ることがある	貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。	異常ではありません。

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
集熱器のガラスが時々くもる	寒い日に窓ガラスがくもるように、集熱板の温度と外気温の差で集熱器のガラスがくもることがあります。	集熱するとくもりが消える場合は、異常ではありません。常時くもっている場合は水漏れの可能性があるので、販売店または、弊社窓口ご連絡を。

設定したふろ湯量にならないときは(水位のリセット)

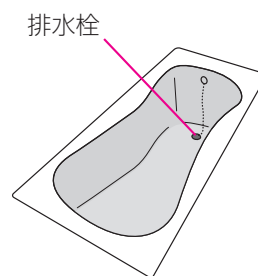


P24「設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない」を確認しても、設定した湯量にならない場合は、下記の手順をお試しください。

1 浴槽のお湯(水)を空にする



2 排水栓を閉める

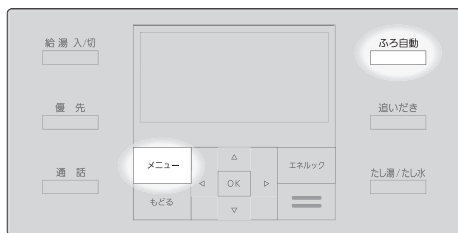


3 浴室リモコンで、ふろ湯量を設定し直す

4 給湯スイッチを「切」にする

5 メニュースイッチとふろ自動スイッチを同時にピッと鳴るまで(約2秒間)押す

【浴室リモコン】



6 ふろ自動の完了後、それでも湯量がおかしい場合は、販売店または、弊社窓口へご相談ください

- 自動的に給湯スイッチとふろ自動スイッチが「入」になり、ふろ自動が始まります。
- 通常のふろ自動より、沸き上がりに時間がかかります。
- ふろ自動が完了するまで停止しないでください**
- 沸き上がるとメロディでお知らせします。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P23～27と、リモコン操作編の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 この取扱説明書の表紙または保証書をご覧ください
お買い上げ日 保証書をご覧ください
異常の状況 故障表示など、できるだけ詳しく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



● 故障表示のみ表示している場合は、貯湯ユニットの品名・機種コードをリモコンで確認できます ●

故障表示のみ表示している状態で

表示画面

[○○○]

故障表示

OKスイッチを押す

再度OKスイッチを押すか
約1分そのままにすると、
元の画面に戻ります。

機種名

XXXXXXXXXXXX

品名

機種コード

XXXX

機種コード

● 修理料金のしくみ ●

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** などで構成されています。

技術料 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
部品代 修理に使用した部品代金です。
出張料 製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

その他

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

貯湯ユニット

仕様表

品名	SS-GTC2420A
型式名	SS-GTC2420A
種類	給湯方式 先止め式
	設置方式 屋外設置形
点火方式	放電点火式
水圧	使用水圧〈MPa〉 0.1～0.75(1.0～7.5kgf/cm ²)〈推奨水圧 約0.2～0.5(約2.0～5.0kgf/cm ²)〉
	作動水圧〈kPa〉 10(0.1kgf/cm ²)
最低作動流量〈L/分〉	3.5
外形寸法〈mm〉	高さ1755×幅750×奥行440
質量(本体)〈kg〉	90(満水時 296)
タンク容量〈L〉	200
接続口径	ふろ(往き・戻り) QF16ジョイント
	給湯 R3/4
	給水 R3/4
	ガス R1/2
	オーバーフロー 呼び径13
	集熱(往き・戻り) R1/2
電気関係	排水 R1/2
	電源 AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)〈W〉 最大時(給湯+ふろ+集熱)：245 集熱運転時：30～70(集熱配管延長時：45～100) 凍結予防ヒーター 107
	待機時消費電力〈W〉 1.5
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式
安全装置	凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、過電流防止装置、熱交換器漏水安全装置、立消え安全装置、空だき防止装置、空だき安全装置、負圧防止安全装置、過熱防止装置、ファン回転検出装置、断水検出装置、集熱ポンプ回転検出装置、循環ポンプ回転検出装置、ふろポンプ回転検出装置、残火安全装置、停電時高温出湯回避装置、逆流防止装置、不凍液減少検出装置、中和器詰まり検出装置

能力表

使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量)〈kW〉	出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	44.1	24	15
	12A	41.1	22.4	14
LPガス		44.1	24	15

集熱器

仕様表

型式名	SCQ-202
外形寸法〈mm〉	高さ56×幅1012×奥行1928
質量(本体)〈kg〉	38.5(満水時 39.3)
集熱器総面積〈m ² 〉	1.95
集熱器保有水量〈L〉	0.8
配管接続口径	G1/2

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

お客さま	ご芳名		様	【システム名】 VF-6200-1-BL	熱源一体型 貯湯ユニット	SS-GTC2420A
	ご住所				集熱器	SCQ-202 (3 枚)
販売店	店名	扱 者 印	【システム名】 VF-4200-1-BL		熱源一体型 貯湯ユニット	SS-GTC2420A
	住所				集熱器	SCQ-202 (2 枚)
	電話番号					
お買い上げ日		年 月 日				

〈保証対象部分・保証期間〉

- 保証対象部分：システム本体、リモコン
- 保証期間：お買い上げ日より2年間。但し、下記部品については別途以下の年数を保証いたします。
熱源一体型貯湯ユニット内の電装基板・貯湯タンク・熱交換器・集熱器の集熱板・・・5年間

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。
なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 取扱説明書による適切な維持管理をおこなわなかったことに起因する不具合、故障及び損傷。
 - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - 弊社または弊社指定以外の業者の施工部分、およびその施工部分に起因した故障および損傷。
 - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
 - 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
 - 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
 - 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定規格以外の集熱回路の不凍液を使用したことに起因する不具合、故障及び損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者

株式会社ノーリツ



神戸市中央区江戸町 93 番地

■お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についての
お問い合わせは・・・

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター

通話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは・・・ 0570-064-910 (通話料がかかります)

お問い合わせについて

■PHS・IP電話等でつながらない場合は、一般電話・携帯電話からおかけ直してください。 ■お問い合わせの内容確認と正確な対応のため、録音させていただく場合がございます。 ■正確な対応のため、発信電話番号通知をお願いしております。非通知設定をご利用の場合は、はじめに「186」をダイヤルし発信電話番号通知のご協力をお願いいたします。

(270720)